

即金収入を以てかり加入者組合を通じてその工事
負担金収入の三つかりの外部の収入、すなわち
先物資金を以ておこなう事業資金につきその額は
当初の予算計画にあり自己資金を補充するに
したるもの、三に記入するものありすやうに資本的
収入額が資本的支出額に不足する額、千四百一十三万
三千五百十一円は過年度損益勘定留保資金六百万
九千九百九十九円、当年度損益勘定留保資金千四百
七十六万四千三百一十三円を補充したものとす。
つぎに田舎かりの負債に於ては昭和四十二年度福生は
水道事業損益計算書が記載されてありす。
この表は本決算年度中における水道事業の経費実績
と不十分のものとす、いかに示すは、
十一年四月一日から昭和四十二年三月三十一日までの期間損益
とありめとあるものとす。本水道事業の経費が
極く多難であるといふことは各位がよくご承知のことと

いす、本決算年度中における期間損益を結論
的に申しあげます。はらうして三百三十万三千四百
二円の当年度純利益を以て、これがご承知のこととす。
下。しかしながらこの損益計算書の細目を詳細に検
討してみますと、その純利益の大部分は水道管理費
合を以て示すもの、加入金収入五百二十万六千六百六十
円が、あつたれば、その利益を以て、
資本は、資本の元金、企業の経費性の発揮に持分の費を以
てありす。結果の賜物であるといふもの、ご承知のこととす。
なお、ご承知の通り、本年度の四十一
年度中における水道事業の純利益は、本決算年度
中における純利益額の約二倍の六百九十九万六千七百七十
円とあるものとす。

つぎの、負債以降は水道事業の剰余金計算書、
剰余金の処分計算書より、本決算年度末におけ
る水道事業の貸借対照表が記載されてあるものとす。

うみです。しかしこれは自主的努力にこそ解決する要
因は少なく、また困難は実情にあるものと国あるいは都に好
しく大いなる援助をまたなくてはならないものと思ひます。
そして今後は各府は何か協力してこの運動を推進する
必要があると思ひます。この際に従って一層の努力を
望むものであります。また都かい点では、一般会計子
りの繰入金から五百万円と高額に上っておりますが、来
算におよび二百一十万円の剰余金をせよと、実質的は
不足額は百二十万円であります。これは又外面におけ
る診療報酬の支払と、予測の困難は支払もあつた
ことと思ひます。なお的確は予算の掌握を望むべき
ことと存じます。

以上補足説明にかえりて、審査報告といたします。
ついでに、益實屋特別会計の監査報告といたします。
昭和四十二年度福生けい益實屋特別会計収入支出
決算審査意見書 附説一省略

は、お補足説明といたします。本決算におき、益實
屋会計は、一般会計より百万円の繰入れをせよとあり、こ
れは退取補てん金六十二万円で差引きますと、経常的
は、その不足は四十万円であります。この原因は運動
資金の不足による収入の不足であることは、本年度の意見
書にも述べられております。現在運動資金
は三百万円あります。これを年間を通じて金繰り
はけをせよとあり、その利率は八万円であります。本年度の回
率をみる限り、九十一万円で足りておせん。これは人件
費等の経常費の年額に好ましく、七割にすぎないものであ
ります。益實屋はその性格上必ずしも果敢となる
ことは要しませんが、現在の益實屋の費用に充てられ、財政
の健全化をほかるためには、益實屋の基金を四百五
十万円、あるいは五百万円位に増額する必要があると思
ひます。以上益實屋の補足説明といたしますが、こ

李訂正

以上をカテ監査報告セザリマス。おうぐニ
議のり之協定ありんニトセお願いたしマス。

議長 田村匡雄君、おほかりました。
 本日の合議時間は午後五時とあつてあります。
 議事のつぎに、あらかじめ延長したいと思つて、二、三

に二男二女ありて一人か

一、要謙はシと呼ぶ者あり
二、要謙はシと認め下す。
三、予る今日の

合議時間は在長より二回に決せられた。
田中匡陸君は二回より質疑を行はした。
田中君は質疑を行はした。

疑にフコは議事通達の都合工議案の順にお願いした
しです。子下一般合計ありお願いしたしです。

藤島田村臣陸君
以上で一段合討の分には終結した

謙号(田村匡雄君) づくには保合計の念にこそお願いい

國謙后と呼ぶ有り

謙長田村匡雄君
以上は保合會の分に亙るは終結ナ

・譲長(用木匠准君)
子に益質屋・合計の分にあつて願ひ

十者悖誤之君

ハ
F
V
子
下。

その点、お伺いいたします。

民生課長(森田 武君)

お登之いふ
子。

通信通搬費が二万四千三百五十六円と少くあり

子下、二ハ覆詰合でニシテ示す。

六、看停河之君

告級の議合でカクイ
お答えあり

子に下る

私は運搬費をお出しするつもり

亭。

民生課長 木村由

武君一通
別に
人
か
通信

課長 木村田 両君へ 通報は別にしたいんですが、通信費が主で、今までの慣例で通信通報費としようと思ひます。

子看仲子之君

私にその二とほら通信電話といふ二と

をほつり明へてかいい思ひます。

いものせにきずあすといふにほごふかしじやほいかと思ふ

齊。

企圖を遂げ（工部局に）
予算案の立場から回答

之下に示す。

予算の神目につて示さるゝは、自任省の趣

則の体には尊神目か明記
ふいふありき

その

うたに節とそは祿貴とほそかりあすか

その面白さ通

信通致書と掲げらるゝありす。

その~~き~~えが

深草の中に
救入して
あると
思ひ下。

二、
痛
の

ふうに 漢字書で二つの子
子ツに あるいは 皇位
と日

つりた方がしろい
かきと好じすか
たはくす

しきりきり下自衛省の施行規定の中での子に

二のチクに
何とて
いふ

謙長田子臣陸君

以上より、品質屋の命にこそは終結し

五子

謙用軒匡陸君

つぎに、市場会費の分には、ア、お願い

に示す。

(「要議」はこれと呼ぶ者あり)

議長 田村匡雄君 以上とて審議会計の分につて終結した

に示す。

議長 田村匡雄君 一つに都市計画の分につてお願いした

に示す。

(「要議」はこれと呼ぶ者あり)

議長 田村匡雄君 以上とて都市計画の分につて終結した

に示す。

議長 田村匡雄君 一つに水道会計の分につてお願いした

に示す。

(「要議」はこれと呼ぶ者あり)

議長 田村匡雄君 以上とて質疑の全期につて終結した

に示す。

おほかりいたします。

ただいま議題とほすあり
子「議案」ヤ六十九号からヤ七十四号までの昭和四十

二年度福生村各会計の合併の決算についていまはこれを承認するにこれに「要議」ありませんか。

(「要議」はこれと呼ぶ者あり)

議長 田村匡雄君 「要議」はこれと認めます。おそ議

案ヤ六十九号からヤ七十四号までの合併につてはいす

かか重要ありあり認定するにこれに決定したので示した

議長 田村匡雄君 日程ヤ十四議案ヤ六十九号福生村

表彰を例に基づく一般表彰につて議題に供して

す。事務局とて「要議」の討論をいたさします。

(青山「議案」係長朗読) 省略

議長 田村匡雄君 理事者から提案理由の説明を求め

ます。

(「議長」石川常太郎君登壇)

議長 石川常太郎君 お許しをいたさす、

案ヤ六十九号福生村表彰を例に基づく一般表彰

に於て「龍明」中を示す。